

特集

2025年大阪・関西万博

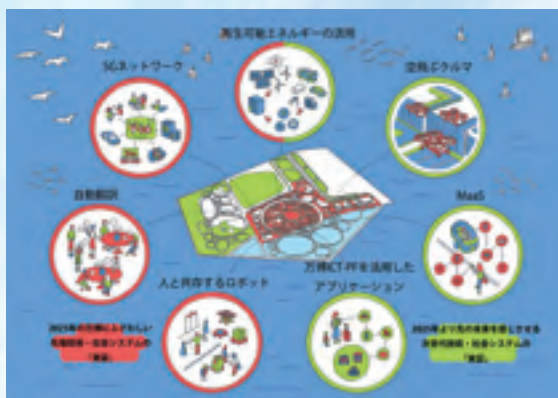
イベント対策特別委員会

1 2025年大阪・関西万博の概要

- (1) 名称
2025年日本国際博覧会
(略称「大阪・関西万博」)
- (2) 開催期間
2025年4月13日(日)～
10月13日(月)
- (3) 会場
ゆめしま
大阪 夢洲(大阪市此花区)
- (4) 来場者数
約2,820万人(想定)



提供：2025年日本国際博覧会協会



提供：2025年日本国際博覧会協会



提供：2025年日本国際博覧会協会

テーマ

いのち輝く未来社会のデザイン

Designing Future Society for Our Lives

サブテーマ

Saving Lives (いのちを救う)

Empowering Lives (いのちに力を与える)

Connecting Lives (いのちをつなぐ)

コンセプト

People's Living Lab (未来社会の実験場)



提供：2025年日本国際博覧会協会

2 会場

(1) 会場エリア

万博会場を3つのエリアに分けて構成されています。

●パビリオンワールド

会場の中心部に位置し、パビリオンや飲食・物販施設、催事会場等が集まる賑わいのエリアです。東と西の2カ所にエントランスゲートが設置されます。

●グリーンワールド

密度の濃いパビリオンワールドと対照的に、開放的で緑あふれる空間とし、屋外イベント広場や、ベストプラクティスエリア、先進的なモビリティを体験するエリア等が配置されます。西向きに瀬戸内の海を直接臨むことができる場所で、飲食・物販の施設もあります。

●つながりの海

海の上の万博会場を象徴する場所で、堤防によって作られた内海をさらに大屋根（リンク）によって囲い取り「海の広場」を作っています。大屋根（リンク）の上は展望歩廊で瀬戸内の海を見渡せます。



提供：2025年日本国際博覧会協会

(2) パビリオン

参加国・国際機関のパビリオン、企業パビリオン、日本館、自治体館、テーマ館などがあり、企業パビリオンは既に13の企業と団体が内定しています。また、自治体館として大阪館（仮称）も出展が予定されています。

3 交通アクセス

万博開催期間中は、右図のとおり鉄道（地下鉄中央線）、主要駅等からのシャトルバス、自家用車等に対応するパークアンドライドバスなどで会場まで輸送する計画となっています。

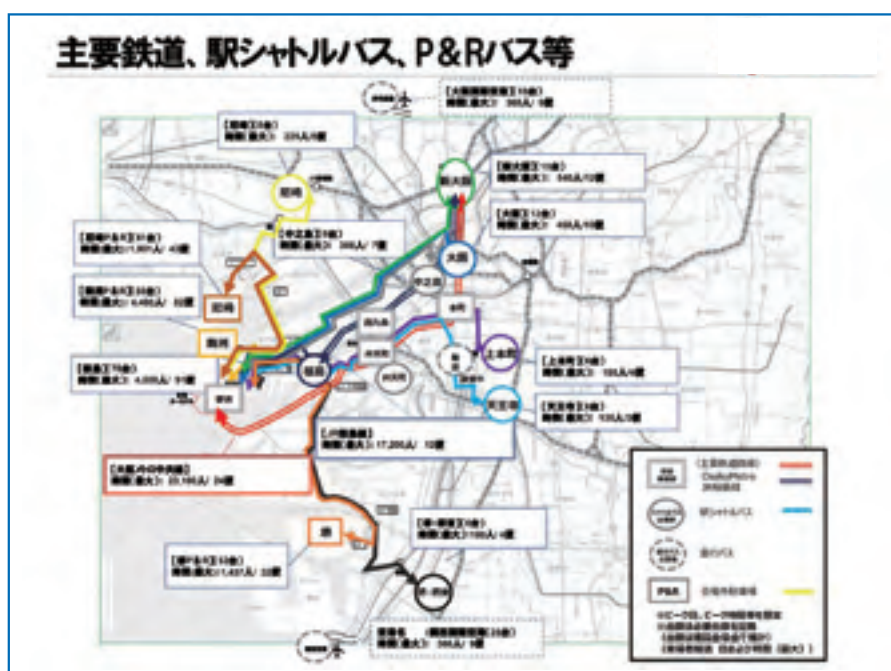
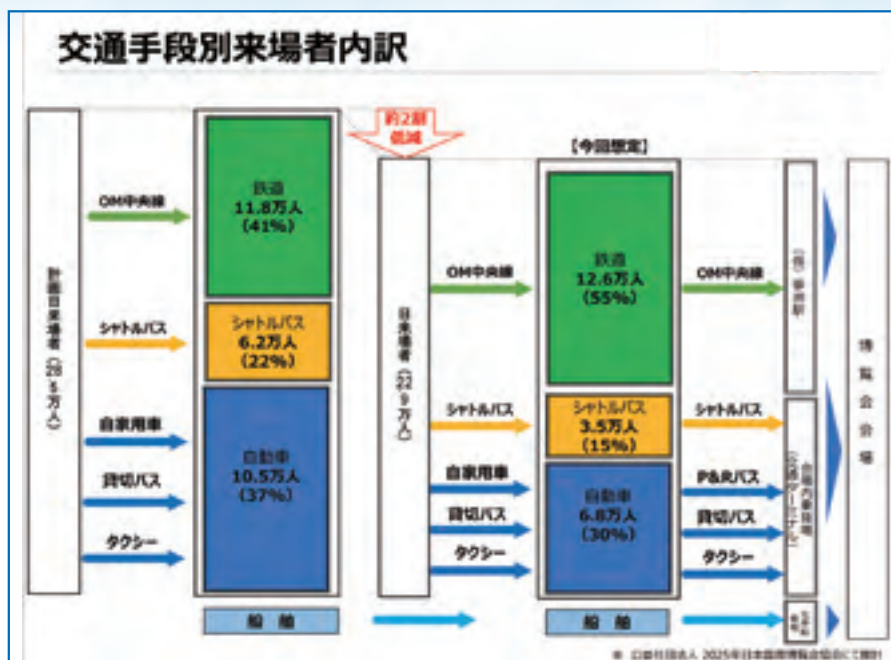
想定される主なルートは

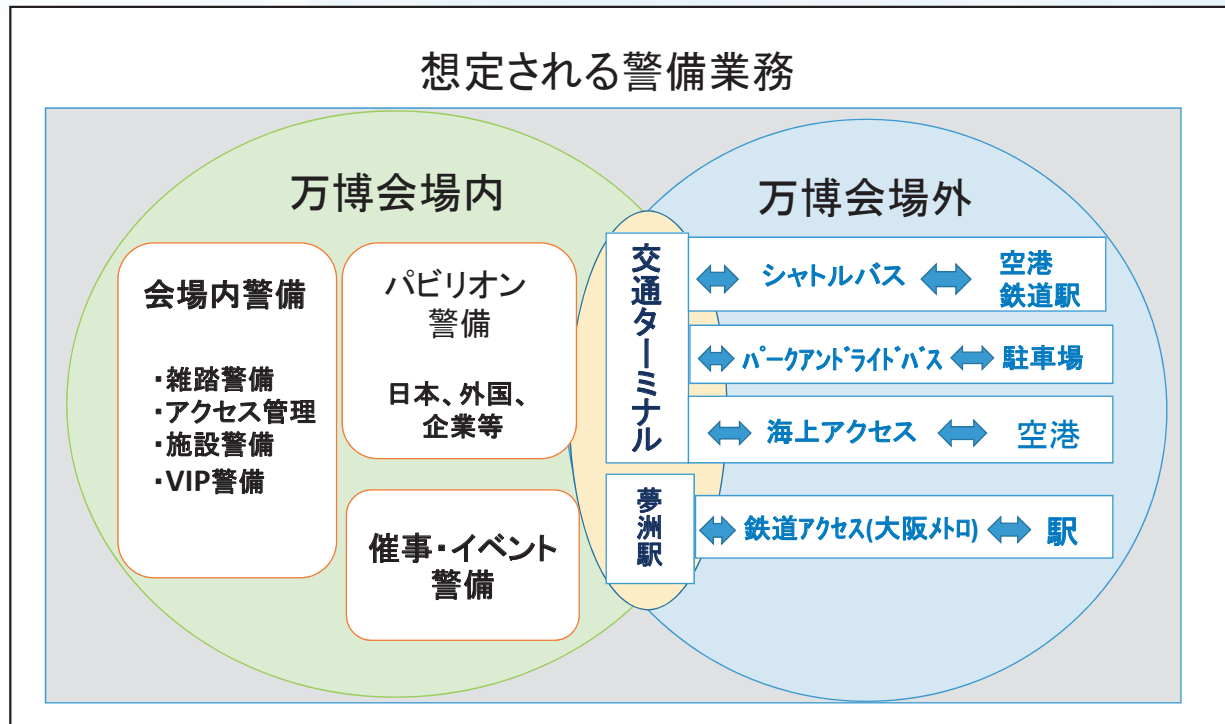
- 地下鉄中央線は直接万博会場へ乗り入れており最も輸送力大きいルートとなります。
- 万博会場に近いJR桜島線の桜島駅からシャトルバスで会場に入るルートは輸送力も大きいと予想されます。
- 新大阪駅、大阪駅等からシャトルバスで淀川左岸線を通り会場に至るルートは定時制を確保したものです。

その他、右図の主要鉄道駅等からのシャトルバスは基本予約制で運行が予定されています。

万博会場へは公共交通機関の利用が原則として呼びかけられており、自家用車では会場の夢洲には乗り入れはできません。やむを得ず自家用車を利用する方に対しては、舞洲、尼崎、堺の会場外駐車場を用意しており、パークアンドライドバスで駐車場から万博会場まで移動できます。

また、船舶を使った海上輸送も検討されています。





4 万博警備

大阪・関西万博の警備については、大きく「万博会場内の警備」と「万博会場外の警備（いわゆる交通アクセス関係の警備）」が想定されます。

(1) 万博会場内の警備

会場内の警備も大きく分けると、次の3つに分類できます。

- 「会場内警備」～雑踏警備、来場者のセキュリティチェック、施設警備、VIP警備など
- 「催事・イベント警備」～劇場催事、広場催事、展示体験催事、イベント等
- 「パビリオン警備」～参加国、企業のパビリオン、日本館、テーマ館等

(2) 万博会場外の警備（交通アクセス関係）

万博会場への交通アクセスは、鉄道、シャトルバス、パークアンドライドバス、団体バス等が想定されています。

交通アクセスに関する警備は、夢洲に設置される交通ターミナルやバスの出発拠点となる空港や主要鉄道駅のバスターミナル、駐車場及びその周辺の交通誘導、雑踏整理等の警備が想定されます。また、地下鉄をはじめとする主要鉄道駅の警備も増強されることが予想されます。

5 これからの万博警備の予定

(1) 会場内警備

現在策定中の“警備基本計画”が今年の夏頃には完成し、その後“警備実施計画”の策定が予定されています。また、“警備実施計画”の策定と併せて警備業務の実施事業者の募集が想定されます。

(2) パビリオン警備

パビリオンの警備を行う警備事業者の募集については、外国パビリオンとそれ以外のパビリオンで分けられているようです。

外国パビリオンの警備は、博覧会協会が公式参加の外国政府に対して警備事業者やビルメンテナンス事業者の名簿を提供するシステムになっており、この名簿に登載を希望する事業者の募集は昨年11月に終了しています。

その他のパビリオンの警備については、今後公募されると思われますが、2005年の「愛・地球博（愛知県）」ではパビリオンごとに警備事業者と契約しています。

(3) 会場外警備（交通アクセス）

昨年6月に「来場者輸送基本方針」が策定され、10月に具体方針（アクションプラン）初版が公表されています。今後、協議・検討が進められアクションプランは半年ごとに更新される予定です。これら輸送計画の進展に伴い、関係する警備業務の公募が行われることが想定されます。

※大阪・関西万博の警備等に関しては、

- （一社）大阪府警備業協会 ホームページ 「大阪・関西万博関連」
- 2025年日本国際博覧会協会 ホームページ

の確認をお願いします。

